

| 理念 | 基本方針 | 実施事業所 | 2019年度重点施策 | 2019年度重点施策の評価と課題 | 目標数値 | | | |
|---------------------------------|-----------------|-------------------|--|--|---|---|-------------------------------|-------------------------------|
| 藤枝すみれ会は誰もが生き生きと心豊かに暮らせる社会を目指します | 地域社会で築く「自立」と共生」 | 利用者ニーズに応じたサービスの提供 | 東部すみれの家 生活介護 〈定員20名〉 2019年度利用者 男:12、女:11 計23 | ・心身の健康の保持増進を目指し、“心身を整える”ためのサービス内容の充実をはかる。 ・自己表現を大事にした創作活動、生産活動の増進。作品や製品を社会に発信する機会の拡大に努める。 ・安全で安心できる環境の確保に努める。 ・余暇活動の充実支援。年6回土曜日開所する。 | ・毎朝の嚙下運動・ダンス、年12回体操教室を実施。リラックス効果は音楽を使用。様々な関節を楽しく動かす習慣をつけることができた。花の育成や植物、生き物を展示し、心身を整える環境づくりをしたことで気持ちを穏やかに過ごやすくなった。 ・季節毎の創作活動年5回。「プレゼントする喜び」を目標にしたことで本人の知人、家族より好評。本人たちも意欲も更に高まり創作に対する自信がついていた。 ・陶芸や折り紙、紙などの作品を事業所啓発品「クリアファイル」に加工し社会に配布する機会となった。全利用者作品が掲載されていることで事業所の頑張りへの評価につながっている。 ・尊厳や虐待に対する意識を日頃から話し合っている職員環境は定着、継続する。 ・6回/年実施。大きな集団では困難な「カラオケ」「手巻き寿司作り」「遠出ドライブ」は利用者の高いニーズであり達成できたので今後も余暇の充実を図る。 | 稼働率 2019年度目標 2019年度実績 93% 90% | | |
| | | | 西部すみれの家 就労移行 〈定員6名〉 2019年度利用者 男:0、女:0 計0 | ・職場見学、職場実習・施設外就労を通して、様々な職種を経験し、働く意欲を高めていく。 ・就職者の定着を図るためのアフターケアを計画的に進め、各関係機関と連携をとり就労定着に努める。 | ・4名の利用者で2019年度が始まり、就労継続B型に3名(西部すみれの家2名・他事業所1名)、就労継続A型に1名の進路が決まった。2019年10月末で利用者数0人となる。相談員、市役所等関係機関とは連携をとりながら利用者増には努めたが、利用者増にはつながらず、2019年度末で就労移行サービスを廃止とすることになった。今まで一般企業へ就職した方は継続して就労している。困ったことが起きたときや話をきいてもらいたいときには話をきいたり、アドバイスをし定着に努めた。 | 就職者数 2019年度目標 2019年度実績 就職者数1名 0名 | | |
| | | | 就労B 〈定員24名〉 2019年度利用者 男:16、女:13 計29 | ・施設外就労を含め、様々な活動を経験し、一人ひとりのできる力を引き出しながら働く意欲・喜びにつなげていく。また、適材適所の作業分担で生産性を高め工賃アップを目指す。 ・自主製品 焼き菓子販売を通じて地域とのつながりを大切に、販売方法の戦略を立てることに努め、売り上げ向上を図る。 | ・施設外就労はほぼ毎日継続できた。毎日行った作業量を意識でき、作業量が多いときには喜んでいて意欲につながっている利用者が増えてきている。今後も励みながら、モチベーションを維持またはあげていきたい。施設外就労の継続には職員体制が大きく関係してくることが課題である。 ・作業工程の工夫を行うことで、利用者のできること・苦手なことが明確になってきている。今後職員共通認識を目指し記録していき、さらに生産性を高め、工賃アップを目指していきたい。 ・毎日半日の通所リズムや毎日、作業室を離れ休憩をする利用者が数名いる。個々の気持ちを聞いたり確認したりしながら、毎日通所できることを大切にしていきたい。 | 目標工賃達成 2019年度目標 2019年度実績 14,000円 10,565円 | | |
| | | | 南部すみれの家 生活介護 〈定員25名〉 2019年度利用者 男:19、女:4 計23 | ・一人ひとりの身体機能に合わせて体を動かす機会を提供し、健康維持に努める。 ・創作活動や施設外活動をより充実させ、様々な経験をする中で意思決定の選択の幅を広げていく。 ・利用者の特性に合わせた構造化や、日々変化する利用者の状態に合わせた環境を作り、安心安全な居場所を提供する。 | ・体操教室の講師から利用者一人ひとりに合った体の動かし方を教えて頂き、日常生活の中で基礎体力作りに取り組み、トランポリンやボール等を使用して楽しみながら体を動かす事で前向きに参加出来るように配慮をした。散歩は利用者の特性に合わせてグループに分かれて行った。 ・今年度は創作活動の中で新しくフラワーアレンジメントや陶芸教室に取り組んだ。また、桜見学や公園、施設見学等の短い時間の個別外出を増やす事で、普段出来ない経験が出来るように努めた。利用者の中には初めて行く場所もあり、新たに興味を持った利用者もいた。 ・個室の提供やパーテーションを使用する等、一人ひとりの利用者の特性に合わせて必要な環境を作り、また、個別にスケジュールを作成する事で落ち着いて過ごせるように努めた。 | 稼働率 2019年度目標 2019年度実績 95% 95% | | |
| | | | 就労B 〈定員15名〉 2019年度利用者 男:13、女:6 計19 | ・園芸作業を通し、身体機能向上や精神的安定に繋げ、働く力の維持を図る。 ・一人ひとりの特性に合わせた環境を用意し、作業の種類に応じて治具を作成することで生産性を高める。 ・プランター販売やアフターフォローを継続しながら利用者のできる力を伸ばし、花苗販売にも力を入れる事で自主製品の幅を広げていく。 | ・園芸作業を行う中で外に出て、気分をリフレッシュさせながら体を動かし、利用者の中には作業に対して前向きな言葉が聞かれ意欲向上に繋がった。 ・下請け作業では、新しい仕事が入る度に必要に応じて治具を作成し、生産性を高めた。必要に応じてパーテーションを使用し、利用者の状態に合わせて席を変える等、環境に配慮をした。また、スケジュールを立てる事で見通しがつき、安心して過ごす事に繋がった。 ・新しい種類の花苗・プランター作りに挑戦して売り上げ向上に努めた。また、アフターフォローでは出来る事が増え、作業の幅が広がった利用者もいた。 | 目標工賃達成 2019年度目標 2019年度実績 6,394円 5,243円 | | |
| | | | 北部すみれの家 生活介護 〈定員25名〉 2019年度利用者 男:11、女:8 計19 | ・一人ひとりの健康状態に配慮しながら、体を動かすことに億劫にならないよう、毎日の散歩や体力作りの場を提供し身体機能や健康維持向上に努める。 ・生産活動や創作活動等を通して、自己表現力を高め意思決定に繋がる支援に努めながら、個別対応・グループ別活動を実施していく。 ・休日の余暇活動の充実を図れるように、土曜日開所を試行する。(外出体験・年3回) | ・毎朝の散歩、体操、体操教室(年6回)、スポーツ教室(年7回)、トランポウーク(年5回)など色々な活動を取り入れ環境を作り身体機能維持向上に努めた。利用者の高齢化も課題であり、今後も個別支援に力を入れ健康維持にもつなげていく。 ・生産活動では、一人一人の適正に合わせた作業を振り分け、幅が広げられるよう挑戦する機会を設け新しいことに一生懸命試みる姿が見られていた。創作活動は、意思を尊重しながら個性が感じられる作品を作り上げることができた。(バッジ作り・ステンシルのトートバック・松ぼっくりツリー) ・利用者のニーズに合わせて4グループに分かれ実施する。時間配分にゆとりをもたせたことで穏やかな雰囲気の中、外出することができた。来年度もニーズに沿える計画を実施できるよう努める。 | 稼働率 2019年度目標 2019年度実績 80% 77% | | |
| | | | 就労B 〈定員15名〉 2019年度利用者 男:6、女:4 計10 | ・個々の作業訓練を取り入れ、できることや得意な作業を磨き、作業能力・生産性を高める。 ・自主製品を作ることで作る喜び・意欲に繋がるよう提供していく。 ・健康状態の自己管理や運動の励行を促し、「働く力」の基礎となる体力維持向上・心身機能の向上に努める。 | ・本人の挑戦したいことを汲み取り、下請作業や自主製品製作に取り組むことで意欲向上につながった。自助具の活用や視覚的支援の工夫で一人一人出来ることが増えている。目標工賃を下回る結果になったが、体調不良やケガで休む利用者があったことから、高齢化の原因の一つと考えられる。心身の変化に応じた健康の保持、安定が必要である。今後も体調面を配慮し支援にあたっていく。 ・日々の健康状態を観察しながら、体力の維持・向上ができるよう散歩や体操、講師を招いての体操教室やトランポウークを実施した。伸び伸びと身体を動かすことができ有意義な時間となった。 | 目標工賃達成 2019年度目標 2019年度実績 8,242円 5,975円 | | |
| | | | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 | 互いに認め合い、 支え合うネット ワークの創造 |
| | | | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 | 利用者の頑張り と輝きを広く地域 社会に発信 |

* 2019年度利用者は
2020年3月31日現在数